35 時刻調整・画面の 焼き付き防止

この章では、GP-Pro EX の「時刻調整・画面の焼き付き防止」についての基本的な説明と、時刻デー タの変更・画面表示を OFF するための基本操作について説明します。 まず「35.1 設定メニュー」(35-2 ページ)をお読みいただき、目的に合った説明ページへ読み進んで ください。

35.1	設定メニュー	35-2
35.2	時計を合わせたい	35-3
35.3	画面の焼き付きを防止したい	35-7
35.4	制限事項	

35.1 設定メニュー



GP-Pro EX リファレンスマニュアル

35.2 時計を合わせたい

35.2.1 詳細



接続機器 (PLC など)より GP 本体の時計データ (BCD) を修正します。

35.2.2 設定手順

MEMO ・設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

^C 「5.14.6 [システム設定ウィンドウ]の設定ガイド システムエリア設定 (5-128 ページ)



1 [システム設定ウィンドウ]タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。

システム設定ウィンドウ 🛛 🕂 🗙
表示器設定
腰種設定
本体設定
<u>ロジックプログラム設定</u>
ビデオ/動画設定
<u>フォント設定</u>
周辺機器設定
周辺機器一覧
接続機器設定
プリンタ設定
入力機器設定
<u>スクリプト設定</u>
<u>1/0ドライバ設定</u>
<u>FTPサーバ設定</u>
モデム設定
<u>VMユニット設定</u>
🌆 シス 井 アド 🚺 共 🔜 画

MEMO

ワークスペースに[システム設定ウィンドウ]タブが表示されていない場合は、[表示(V)]メニューから[ワークスペース(W)]を選択し、[システム設定ウィンドウ(S)]を選択します。

2 [表示器設定]から [本体設定]を選択します。



3 [システムエリア設定] タブを選択して [システムエリア先頭アドレス]を設定し、[システムデータ エリアを使用する] にチェックを入れます。

[時計データ(設定値):(4ワード)]にチェックが入っていることを確認します。

表示設定 操作設定 動作設定 ロジック設定 システムエリア設定		
機器設定		
システムエリア機器 PLC1	•	
-システムデータエリア		
システムエリア先頭アドレス [[PLC1]D0000	0	
読み込みエリアサイズ 🛛 😑 🏥		
▼ システムデータエリアを使用する		
システムデータエリアの項目選択	使用ワード数 16	
☑ 表示中画面番号:(1ワード)	[PLC1]D00000	
☑ エラーステータス:(1ワード)	[PLC1]D00001	
☑ 時計データ(現在値):(4ワード)	[PLC1]D00002	
☑ ステータス:(1ワード)	[PLC1]D00006	
✓ 予約(Write):(1ワード)	[PLC1]D00007	
☑ 切り替え画面番号:(1ワード)	[PLC1]D00008	
✓ 画面表示ON/OFF:(1ワード)	[PLC1]D00009	
☑ 時計データ(設定値):(4ワード)	[PLC1]D00010	
וערב וויערב 🗹	[PLC1]D00014	
▼ 予約(Read):(1ワード)	[PLC1]D00015	
🔲 ウィンドウコントロール:(1ワード)		
□ ウィンドウ画面番号:(1ワード)		
🗌 ウィンドウ表示位置: (2ワード)		

4 [時計データ(設定値):(4ワード)]に表示されているアドレス(例:D0010 ~ D0013)に、変更したい時計データ(例:05年9月27日15時27分)をBCDで書き込みます。時計データはデータの書き換えフラグ(例:D0010の15ビット目)が変化(OFF→ONまたはON→OFF)すると書き換えられます。データを書き込む手順は以下の手順で行います。



35.3 画面の焼き付きを防止したい

35.3.1 一定時間経過すると画面表示を OFF する場合の設定手順

MEMO ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。 (デ「5.14.6 [システム設定ウィンドウ]の設定ガイド 表示設定」(5-108 ページ)



ある一定時間画面操作などが無かった場合、自動で画面表示を OFF します。

1 [システム設定ウィンドウ]タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。

システム設定ウィンドウ 🛛 🕂 🗙
表示器設定
腰種設定
本体設定
ロジックプログラム設定
ビデオ/動画設定
<u>2#21設定</u>
周辺機器設定
周辺機器一覧
接続機器設定
プリンタ設定
入力機器設定
スクリプト設定
<u>I/Oドライバ設定</u>
<u>FTPサーバ設定</u>
モデム設定
<u>VMユニット設定</u>
🌆 シス 🏭 アド 📓 共 🔠 画

MEMO

ワークスペースに [システム設定ウィンドウ] タブが表示されていない場合は、 [表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、 [システム設定ウィンドウ (S)] を選択します。

2 [表示器設定]から [本体設定]を選択します。



3 [表示設定] タブの [画面設定] で [スタンバイモード設定] を指定します。(例: 画面 OFF)

表示設定 操作設定 動作設定 ロジック設定 システムエリア設定				
[画面設定			
	初期画面番号			
	表示画面番号のデータ形式	⊙ Bin ◯ BCD		
	本体からの画面切替			
	▶ 接続機器へ反映			
	29-1916	0 🗄 🏾 秒		
	スタンバイモード設定	画面OFF I		
	スタンバイモード時間			
	スタンバイモード時の切替画面番号			

4 [スタンバイモード時間]に設定時間を指定します。(例:10)

	スタンバイモード設定 画面OFF スタンバイモード時間 10 三 重 分
МЕМО	• [スタンバイモード時間]で設定した時間内に、画面操作やアラーム発生(流れ表示) などがなかった場合、画面表示が OFF します。再度画面を表示させるには、表示 OFF している画面を1回だけタッチします。

35.3.2 接続機器 (PLC など) から画面表示を OFF する場合の設定手順





接続機器 (PLC など)から GPの画面表示を OFF します。

1 [システム設定ウィンドウ]タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。

システム設定ウィンドウ 🛛 🕂 🗙
表示器設定
腰種設定
本体設定
ロジックプログラム設定
<u>ビデオ/動画設定</u>
<u>フォント設定</u>
周辺機器設定
周辺機器一覧
接続機器設定
<u>プリンタ設定</u>
入力機器設定
<u>スクリプト設定</u>
1/0ドライバ設定
<u>FTPサーバ設定</u>
王デム設定
<u>VMユニット設定</u>

MEMO

ワークスペースに[システム設定ウィンドウ]タブが表示されていない場合は、[表示(V)]メニューから[ワークスペース(W)]を選択し、[システム設定ウィンドウ(S)]を選択します。

2 [表示器設定]から [本体設定]を選択します。



3 [システムエリア設定] タブを選択して [システムエリア先頭アドレス]を設定し、[システムデータ エリアを使用する] にチェックを入れます。

[画面表示 ON/OFF:(1 ワード)]にチェックが入っていることを確認します。

表示設定 操作設定 動作設定 ロジック設定 システムエリア設定				
1線GBB文定 システムエリア機器 PLC1				
ーシステムデータエリア システムエリア先頭アドレス [PLC1]D00	0000			
読み込みエリアサイズ 0 🛨	m			
システムデータエリアの項目選択	使用ワード数 16			
☑ 表示中画面番号:(1ワード)	[PLC1]D00000			
☑ エラーステータス:(1ワード)	[PLC1]D00001			
☑ 時計データ(現在値):(4ワード)	[PLC1]D00002			
☑ ステータス:(1ワード)	[PLC1]D00006			
▼ 予約(Write):(1ワード)	[PLC1]D00007			
☑ 切り替え画面番号:(1ワード)	[PLC1]D00008			
✓ 画面表示ON/OFF:(1ワード)	[PLC1]D00009			
☑ 時計データ(設定値):(4ワード)	[PLC1]D00010			
☑ בטאם−ル: (1ワード)	[PLC1]D00014			
✓ 予約(Read):(1ワード)	[PLC1]D00015			
□ ウィンドウコントロール:(1ワード)				
🗌 ウィンドウ画面番号:(1ワード)				
□ ウィンドウ表示位置:(2ワード)				

4 [画面表示 ON/OFF: (1ワード)] に表示されているアドレス(例: D0009)に、「FFFFh」を書き込むと GP の画面表示を OFF します。

 MEMO
 ● 画面表示が OFF している画面を再度表示させるには、画面を1回だけタッチします。

35.4 制限事項

35.4.1 時計を合わせる際の制限事項

時計データはデータの書き換え用フラグが変化(OFF→ON または ON→OFF)すると書き換えられます。「秒」のデータ変更はできません。時計データを書き換えたときに「0」にリセットされます。

例) 05年10月16日21時57分

[時計データ(設定値)]アドレスの現在のデータが0000とします。

以下のアドレスに「月」「日」「時分」を書き込みます。

- •[時計データ(設定値)]+1に0010
- ・[時計データ(設定値)]+2に0016
- [時計データ(設定値)]+3に2157

[時計データ(設定値)]のアドレスに、「年」の15ビット目を ON したデータ(8005)を書き込むと、時計データは書き換えられます。

- 時計データの [データ形式]は BCD で設定されます。
- メモリリンク方式を使用して、時計データを設定する場合はアドレスは 0004 ~ 0008 の 5 つを使用し、それぞれ(年、月、日、時、分)のデータを直接格納します。

35.4.2 画面を OFF する際の制限事項

- [スタンバイモード時間]を設定した場合、[画面表示 ON/OFF]アドレスのデータが「0000h」で、 設定時間以上、次のいずれかの動作がない状態の場合に表示が消えます。
 - 1. タッチまたは接続機器で画面切替えをする。
 - 2. 画面をタッチ操作する。
 - 3. アラームメッセージ(流れ表示)を表示する。
 - 4. エラーメッセージを表示する。
- スタンバイモード時間は「1~255」の範囲で設定します。
- 画面表示 OFF 後の1回目のタッチ入力は画面表示 ON としての動作となります。
- 接続機器 (PLC など)から画面表示を OFF する場合、[画面表示 ON/OFF] に設定したアドレスに 格納される値が「FFFFh」ならば画面表示が消えます。「0h」の時は画面表示します。「FFFFh」、 「0h」以外は予約となります。